

2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ●副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ●会報委員長 小林 浩太郎



第2980回例会 (令和7年4月14日)



ホームページQR

【入会セレモニー】

◆株式会社オーパーツ

代表取締役

大日方 新治さん

◆推薦者 金子 良夫さん



【会長挨拶】

金子 良夫 会長

先週土曜日から、大阪万博が開催されました。ニュースによればエキスポ70、55年前の大阪万博を知らない世代がほとんどであるとのことでした。私にとって、大阪万博と言えば、55年前の万博を思い出します。三波春夫さんが歌った『世界の国からこんにちは』、岡本太郎作の『太陽の塔』などを思い出します。当時の入場者数は6,421万8,770人、日本人の6割が参加しました。その前年には、月の石が東京上野科学博物館に展示され、翌年の万博でも展示されました。同時期に、上野動物園に初めてパンダがやってきました。今回の万博でも月の石が展示されるということですが、月の石に関しては当時と変わらないのは感慨深いものがあります。当時小学生であった世代にとっては、大阪万博に行ってきたよというのはステータスでした。私は行けなかった者ですが、友達の間で自慢話を大変うらやましく思ったのを思い出します。兎にも角にも当時、大阪万博で日本中が盛り上がったことは鮮明に覚えています。

2005年愛知万博は2,200万人の入場者がいたそうです。当時、私はロータリーに入会したばかりでしたが、愛知万博を訪れ、ロータリー館に入館しました。ロータリアンが顔を出すとメーキャップになりました。これが私にとって、ロータリーでの初めてのメークとなりました。調べてみると、今回の大阪万博には、ロータリー館は設置されていません。ロータリー館があれば、ぜひ大阪万博に行ってみたくて思っていた私にはとても残念です。

開幕のニュースは、行きも帰りも大混雑した、館内スマホがダウンしたなど運営面の困難を伝えるニュースばかり

でしたが、開幕当初は不手際もあるでしょう。今後の大阪万博の盛り上がりを期待したいと思います。もう少し混雑が緩和されたら私も訪問したいと思っています。

【会員卓話】

職業奉仕委員会 飯島 幸宏 委員長

2015年、田中健一会長の年に上田ロータリークラブとして4冊目となる「私の職業奉仕」が刊行されました。最初に発行されたのが1979年といえますから、それから実に46年もの歳月が流れています。二回目に作成されたのは1991年、三回目は2004年となっており、11年から12年おきに発行されています。

2015年田中会長の時に職業奉仕委員長を務められたのが、伊藤典夫さんで副委員長が布施先生です。私が入会したのがこの年でしたので、右も左もわからないながらも、伊藤委員長たちが大変ご苦労されていたのを覚えています。本日は10年前に刊行されたこの「私の職業奉仕」をご紹介します。委員卓話といたします。

表紙をめくると最初に目に飛び込んでくるのが「ロータリアンの行動規範」です。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもつて行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

1、2、3は英語訳なので若干解釈は難しいですが4については簡単に理解できます。現在の行動規範には2019年にR Iの理事会で決まった次の文章が追加されています。

5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないように確認する。これも時流でしょうか。

この「ロータリアンの行動規範」の下に「四つのテスト」が掲載されており、その次のページから発刊にあたりとして田中会長の文章に続いて、当時の2600地区望月ガバナー、東信第二グループガバナー補佐、地区の職業奉仕委員長のお三方からの寄稿文が載っています。

田中会長はあいさつ文の中でこう仰っています。

『「私の職業奉仕」集の初版は、1979年当時の職業奉仕委員長でおられた、故岡昌樹氏が発行されて以来、本年37年目に第4版の刊行となりました。これは、上田クラブが12年ごとに会員の職業奉仕に対する思いを綴り続けた大きな事業のひとつであり、またクラブの貴重な財産でもあります。奇しくも前回第3版の刊行にあたり職業奉仕委員長として携わり、私にとって本年会長という年に刊行されることに大変感慨深く思っております。そして、今回の刊行にご苦勞され、またお氣遣いいただいた伊藤職業奉仕委員長に感謝申し上げますと共に、大勢の会員の皆様のご投稿により立派な冊子が出来たことに併せて感謝申し上げます。

職業奉仕はロータリーの根幹であり、それぞれの職業において奉仕の理念を実践することと言われます。厳しい時代の中、世代が変われば人も変わります。しかし、このロータリーの根幹を揺るがすことなく次世代のロータリアンに職業を通じた貢献の意義を伝えることが正に今年度のテーマ「伝えようロータリーの心を」のごとくであり、私の「職業奉仕」集が今回もまた次世代に形あるものとして残せ、その伝承の一助となれば幸甚に思います。』

以上田中会長のご挨拶でした。田中会長が仰るようにこの「私の職業奉仕」の冊子を作った意味は、まさに次世代である私たちに向けられたものかもしれません。

次に、望月ガバナーの文章の一節をご紹介します。

『私は、ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕にあると考えています。それは「ロータリーの目的」で明確にされているからです。「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」この主文は職業奉仕の定義でもあります。ロータリーは目的を実践するための組織であり、その根幹にあるものは職業奉仕です。』

これを私なりに解釈するとそれぞれの自分の職業を通じて、少しでも社会の役に立つことを実践していくのが職業奉仕ではないかなあとと思います。

また当時の地区の職業奉仕の委員長さん、飯田ロータリークラブの久保田さんという方も文章を寄せていただいて、その中でこう仰っています。

『ロータリーにおける職業奉仕活動(基本理念)とは下記の通りかと思います。

- ・職業奉仕倫理に徹する者は、最大の利益を得る
- ・職業を営みお金を儲けること。しかし、正当な儲け方をすること。適正な利潤を得ること
- ・企業活動で儲けること
- ・伊那食品工業(株)の経営理念としている「いい会社」を作りましょう。いい会社を作り会社が儲けること。
- ・自分の職業の当たり前の事を当たり前に事業して企業は儲けること

その意味において、今回の「私の職業奉仕」の冊子を発刊して、その実践例を発表することは、誠に意味深いものがあります。

是非クラブ全員がこの実践例の中から、何かの示唆を得られ、更により良き職業奉仕に努めて頂ければと思います。』

以上地区の委員長さんの文章でした。何かと難しいと言われる職業奉仕ですが、最大の利益や儲けることといったズバツとした言葉で職業奉仕について語ってらっしゃいます。

そしてその後によいよ上田ロータリークラブのメンバーによる「私の職業奉仕」が掲載されています。伊藤委員長の編集後記にもありますが「あいうえお順」の過去三回と異なり、この回からロータリー歴の長い方から順に原稿の掲載となっています。理由としては学ぶべきことが多く、豊富な経験をお持ちの歴の長い順としたとのことでした。

それではここで現メンバーの寄稿文をご披露したいと思います。

まずは金子会長の文章から読まさせていただきます。

◆私の職業奉仕◆

『四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

「四つのテスト」は、どんな商売をするにしても守らなければならないものだと思うが、法律に携わる職業を選んだ者にとっては、これほどぴったりの倫理の物差しはない。

法の理想は、真実の探求にあるし、公平であること、ルールを指し示すことによって、人々がその基準を守ることが争いをなくすこと、公共の福祉という大上段に構えすぎるが、個人・社会の利益を追求することはこれも法の理想とすることである。私の職業に求められているものは、まさしく「四つのテスト」の実践であり、日々、意識しなくても身についたものとして自然と仕事の中で「四つのテスト」を追求している。

さて、私の職業「司法書士」は何をしているのかわかりづらいと言われる。弁護士との違いは何か、行政書士との区別がつかないなどとよく聞かれる。

司法書士は、登記、供託の手続きを代理すること、裁判所へ提出する書類を作成すること、簡易裁判所事件での訴訟代理人となることを業としている。

登記は、普段の生活にはあまり関係のないようにも思えるが、不動産登記は、土地建物の所有権、担保物件などの権利を公示する手段である。多くの民事事件は、金銭の支払いを相手方に求めるものが多いが、登記の帰趨を解決の手段として求めるものも多い。

会社、法人登記簿は謂わば「戸籍簿」と同じような役割を果たしていて、商取引の基本資料として会社公示作用の一翼を担っている。

余談であるが、この法人登記は頻繁に改正が行われる。法律に適応した登記を求めるには、会社法はもとより、その他の協同組合等多数の法人類型に応じた法律に精通しなければならないのであり、追いついていくのに職業人として大変な労力がある。

さて、不動産登記、法人登記ともに適正な登記手続きが求められるのであり、その理想は、真実かどうか、みんなに公平か、みんなのためになるかどうかである。

以上の三つの実践により、登記は争いを未然に防ぐ「予防司法」の機能を果たすことになり、もう一つのテスト、好意と友情を深めるか、に資することになる。

イギリスの法諺では、良き法律家は悪しき隣人“Good lawyer, Bad neighbour”と言われている。権利主張ばかりして隙を見てつけ込んでくるという意味だろうか、私は、良き法律家は良き隣人“Good lawyer, Good neighbour”と言われるように、「四つのテスト」を更に実践していくことで、私の職業奉仕としたい。』

「四つのテスト」と自らの職業倫理を照らし合わせて語っていらっしゃいます。格式高い文章もやはり流石、金子会長です。

続いて直前会長の林秀樹さんの文章をご紹介します。

◆私の職業奉仕◆

『職業奉仕という言葉聞いて最初に頭に浮かぶのは「なにもやっていない。」というあせりの気持ちでした。特に入会して数年は何も話すことがありませんでした。そんな時、ある先輩から「ロータリーにおいて奉仕なんて特に考えなくて良いんだよ。毎日の自分の仕事を一生懸命努めれば、それが一番の職業奉仕だ。」という話をお聞きました。それから、胸を張って職業奉仕の話ができるようになりました。』

私の職業は薬剤師です。薬を通じて地域の方々の健康維持に貢献することが私の職業奉仕です。そのために、日々仕事をしているつもりです。自分の職業を通じて、常に地域のために何か良いこと、新しいことができないかを考え、最善の努力をすることが大切です。

これからも、「思いやりの心をもって、他人のために尽くすこと。」「もっともよく奉仕する者、もっとも多く報いられる。」というロータリー哲学の実践をしていこうと考えております。』

林直前会長の文章は以上です。『ある先輩から「ロータリーにおいて奉仕なんて特に考えなくて良いんだよ。毎日の自分の仕事を一生懸命努めれば、それが一番の職業奉仕だ。」という話をお聞きました。それから、胸を張って職業奉仕の話ができるようになりました。』という一節に何かほっとするものがあります。

続いて、窪田会長エレクトにまいります。

◆私の職業奉仕◆

『私が代表取締役を務める窪田建設株式会社が属する業種は、建設業です。弊社は、昭和27年に父である窪田一徳が起業し、昭和38年に窪田建設株式会社と社名変更してきました。個人の方や商工業の民間企業様から幅広い新築、リフォーム工事を依頼され、木造建築をはじめ、鉄筋コンクリート造、鉄骨造など様々な工法の建築工事を手がけさせて頂いております。また、私が窪田建設株式会社に入社した昭和60年より数十年前から、長野県、上田市などの行政からA級の格付けを頂き、その格付け維持継続しつつ、地域を代表する公共建築工事も多く手がけさせて頂いております。』

会社の軸足である住宅分野は、平成9年にSBC上田ハウジングパークである総合展示場に、自社開発のノルウェーハウスを出展しました。その後も木曽東濃檜を産直で使用した地球民家、すべてコミコミ価格自由設計の定額制住宅など、強い構造、高い性能を確保しつつ、安全安心素材を使用したデザイン性の高い魅力的なコンセプト住宅を安心価格でご提案しております。住む人の笑顔を栽培し続ける家づくりを目指し邁進する会社であるために、前定義とそれを実現するシナリオを前提としたコンセプト住宅をつくるべきだと提唱してきました。そして、地域企業として熟知した気候風土を踏まえ、それに相応しい仕様や施工方法を高いレベルで実行すべきだと考えています。

「人を喜ばせたい」を理念とし、未来へと続く自分らしい人生が歩めるステージ、それを維持するための安心サポートを提供しながら、生活の基礎である住まいづくり、住まい維持に挑戦し貢献し続けたいと考え実践しています。今後は、更に喜んで頂ける新たな企画を立案し、ご提案していきたいと思います。』

窪田さんは最後の『更に喜んで頂ける新たな企画を立案し、ご提案していきたい』との言葉通り、新しいチャレンジを次々とされています。

このように当時のメンバー55名の職業にかける思いや自らが考える職業奉仕観を書かれていて、今回の為に読み返してみるとそれぞれの個性が出ていてとても面白いなと思いました。

さて、恐縮ではありますが私の職業について触れさせていただきます。職業分類はフィットネスクラブで、市内で3店舗運営しています。会社の創業は49年前、私の父が繊維の製造業としてスタートしましたが、その後時代の変遷とともに事業を転換してきました。今のフィット

ネス事業は19年前から取り組んでいます。取り組む背景になった出来事をお話します。

20年ほど前のことです。母や妻が健康であることがあたりまえだった私は普段女性の健康について、真剣に考えたことなどありませんでした。そんな中、ウチの女性従業員さんが入院することになり、退社することになってしまいました。彼女はそれまで何年もご主人のおばあさん、そしてお母さんの2人の入院患者を抱え、毎日2つの病院に行き世話をされてきました。それを苦労だとも言わず、いつも気丈に明るく振舞っていた彼女。今度はその彼女が入院・・・。ご主人と小学生の娘さんのお気持ちはいかばかりだろうか。この身近な出来事を機に、女性が健康で生きることが家族にとって、ひいては地域社会にとってどんなに大事なことを実感出来るようになりました。

そして、ご縁があって今の事業に出会い、今日まで続けることができました。身近な出来事で意識が変わり、この地域の女性の健康作りのお手伝いができていることは私にとって誇りです。

私は人生の困難、困りごとは大きくいって三つに集約されると思っています。一つ目は「情^{なさけ}」です。男女間？の愛情や、友情や人情、人間関係はいつになっても悩み多き人生の課題ではないでしょうか。

二つ目は「お金」です。あっても無くてもお金の問題は常に付きまといますよね。経営者にとっては個人だけでなく、会社の資金繰りにも関わらなければなりません。

三つめがやはり「健康」です。どれをとっても大事なものだとは思いますが、何が一番かと問われたら、私は「健康」かなと思います。健康であれば働いてお金を得ることもできますが、ひとたび健康を損なってしまえば、やりたいこともできません。

人生で最も大事な「健康」にまつわる職業ということで、襟をただし、いい意味の緊張感をもって仕事をしていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

【幹事報告】

酒巻 弘 幹事

1. 地区事務所

国際ロータリー第2600地区青少年
育成基金プロジェクト助成金のご案内
長野県と連携協定について
国際ロータリー第2600地区との協定書



2. 例会変更 上田六文銭RC 5月6日(火) 定受なし
13日(火) 定受なし
20日(火) 定受なし
6月27日(火) 定受なし
上田東RC 4月9日(水) 定受なし
30日(水) 定受なし
5月7日(水) 定受なし
6月25日(水) 定受なし

3. 会報恵送 松本西南RC

【ニコニコBOX】

佐藤 倫 委員

石井懋人さん 伊藤典夫さん 小幡
晃大さん 大日方新治さん 織英子さん
金子良夫さん 桑澤俊恵さん 小山
宏幸さん 齊藤達也さん 酒巻弘さん
佐藤倫さん 滋野真さん 春原宏紀さん 関啓治さん
竹田和徳さん 田中克明さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん
成澤厚さん 比田井美恵さん 保科茂久さん 三井英和さん
柳澤雄次郎さん 横沢泰男さん



本日喜投額 24名 ￥ 39,000
累 計 ￥1,542,000

【例会の記録】

司会：保科 茂久 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング

●入会セレモニー 株式会社オーパーツ

代表取締役 大日方 新治 様

●会長挨拶 ●幹事報告

●会員卓話 職業奉仕委員会 飯島 幸宏 委員長

【ラッキー賞】

織 英子さん(関啓治さんより 伊豆みかんゼリー)

田中 克明さん(関啓治さんより 伊豆みかんゼリー)

成澤 厚さん(保科茂久さんより

笹団子ぱん&くちどけサブレ)

比田井美恵さん(窪田秀徳さんより

信州プレイブウォリアーズグッズ)

大日方新治さん(滋野真さんより 雪中梅)

金子 良夫さん(桑澤俊恵さんより

讃岐うどん&さくら饅頭の豪華版)

小山 宏幸さん(藤森幸路さんより

治一郎のパウムクーヘン)

小幡 晃大さん(内河利夫さんより

長田牧場新作パウムクーヘン)

【出席報告】

保科 茂久 委員長



	本日	前々回 (3/24)
会 員 数	52	52
出席ベース	52	51
出席者数	44 コロナ欠席0	41
出席免除(b) ()内は出席者数	4(4)	4(3)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内は Make up 後		4(45) コロナ欠席0
出席率	84.62	88.24

【次回例会予定】

4月28日(月) 会員卓話 小幡 晃大さん

『ロータリーの友』紹介 雑誌委員会

(4月21日発行)

【会報担当】 島田 太一 会報委員